

会 議 録

1 会議名	平成19年度第1回河内自治会議
2 開催日時	平成19年4月5日(木) 午後4時00分～午後5時20分
3 開催場所	宇都宮市役所 14D会議室
4 出席者	<p>【委員】 青木正子, 永見幹夫, 中村祐司, 前野巖, 太田照男, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 須藤誠一, 須藤貢, 五月女純, 手塚米子, 日向トモエ, 松谷悦広, 森本喜美子, 上山茂, 五月女勝正, 對馬博 幸, 西岡隆義</p> <p>【事務局】 市長, 自治振興部長, 地域自治制度担当参事, 自治振興部次長, 地区行政課長, 河内地域担当参与(以上途中退席) 河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, ほか7名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【報 道】 1社</p>
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 辞令書交付 (3) 市長あいさつ (4) 委員紹介 (5) 事務局紹介 (6) 会長・副会長の選任について (7) 会議及び会議録の公開について (8) 地域自治会議の内容について (9) 会議開催スケジュール (10) その他 (11) 閉 会

(3) 市長あいさつ(要旨)

自治会議の委員に就任いただき心から感謝します。宇都宮市独自の地域自治制度を通して、皆さまに合併してよかったと言われるようなまちづくりを、これからしていかなければならないという思いから、自治会議を立ち上げることとなりました。

平成の合併によって市町村数が減っていくという全国的な流れの中で、宇都宮市の合併を大きな成功例として全国に発信していかなければならないと思っています。そのためには、地域の代表である皆様の思いや考えをこの会議に十分に出していただいて、まちづくりの方向性を見誤ることなく進めていかなければならないと考えています。皆様には、これからの宇都宮市全体のまちづくりのためにご協力くださるようお願いします。

議 事

(6) 会長・副会長の選任について

事務局	今回は、初会合なので、まず会長と副会長の選出が必要ですが、自治会議規則第2条にあるように、会長と副会長の選出については、委員の互選となるので、協議をお願いします。
委員	皆さん初めて会う方も多いので、互選というのは難しい。事務局の案があれば、その案を基に協議することではどうか。
委員	(異議なしの声)
事務局	事務局案として、会長には合併において合併協議会委員として尽力いただいた宇都宮大学国際学部教授の中村委員を、副会長には市民に最も身近な住民組織である自治会から推薦された須藤貢委員を推薦するが、いかがか。
委員	(異議なしの声)
事務局	それでは、会長に中村委員に、副会長には須藤貢委員をお願いします。では、中村会長にごあいさつをお願いします。
会長	平成の合併では、大きく合併すると同時に小さく分けるという地域自治制度が始められた。宇都宮地域の合併は、編入合併であり、小さいところが飲み込まれてしまうという懸念があった。だからこそ、小さい区分で身近な声を大切にしていこうということで、自治会議ができたと理解している。 その自治会議の存在意義を重く受け止めており、自分のできることを精一杯していきたいと思っている。 先ほどの市長の話にもあったが、内外に向けて自治会議が発信することが重要と思う。内としては、新生宇都宮市の3千8百人弱の職員

	<p>に、河内地域の個性、存在のすばらしさを分かってもらうことが大切だと思ふ。また、外に向けては、50万都市の宇都宮市の住民の方々に河内地域を知ってもらい、他の地域の人たちにも合併してよかつたと思わせるような発信も重要だと思ふ。</p> <p>これから審議してもらふ自治会議の役割の中には「担当地域に関わらず」というキーワードが入っており、全市的な提案もしていくこととなることから、河内地域のためだけでなく、全市的な視野を持っていくことが必要となる。これから私も河内地域のことについて勉強していきたいと思ふので、みなさんにも河内以外のことも念頭に発言して行ってほしいと思ふている。</p>
(7) 会議及び会議録の公開について	
会長	次第7の「会議及び会議録の公開について」事務局から説明してください。
事務局	本市では審議会や懇談会の会議及び会議録は、原則として公開していることから、当会議も公開したいと考えております。また、傍聴者の定数は、市の基準では10名程度となっていることから、当会議の傍聴定数を10名としたいと考えております。
会長	会議録は要点筆記とするのか。また、委員の個人名は載せないということによいか。
事務局	そのようにしたい。
会長	それでは、会議録の書き方も含め、そのように公開してよろしいか。
委員	(異議なし)
会長	それでは、そのように公開することとするので、傍聴希望者がいれば入室させてください。 (会議途中から傍聴者1名入室)
(8) 地域自治会議の内容について	
会長	次に、次第8の「地域自治会議の内容について」事務局から説明してください。
事務局	(資料2及び「合併まちづくり計画」により説明) 合併協議の中で、自治体内分権を進めるための新たなしくみとして、宇都宮市独自の地域自治制度をつくりあげた。ひとつは地域行政機関である地域自治センターと、もうひとつは住民代表組織である地域自治会議という二つの柱が車の両輪となり、河内地域の発展と宇都宮市全体の発展のために議論するものとなる。

	<p>自治会議の役割は、大きく分けて二つあるが、一つ目は、市長の諮問に応じて、担当地域のまちづくりに関する施策について調査審議することなど、二つ目は、担当地域のまちづくりに関する施策について提案することとなっている。</p> <p>次に、合併市町村基本計画である「合併まちづくり計画」だが、これは、合併後10年間でどのようなことを進めていくかということが書かれている。概要だが、新市のまちづくりの基本姿勢では、地域の特性を踏まえた新たなまちづくりの推進などがあげられている。</p> <p>新しい宇都宮における「まちづくりの目標」は、「躍動する市民 魅力あふれる地域 あすの活力を育む都市 うつのみや」という将来像を掲げている。また、河内地域の「地域の目標像」は、「水と緑に囲まれ、やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域」としている。その実現に向けて、道路ネットワークの整備や生活排水の適切な処理に関する施策や事業が計画されている。</p>
<p>会長</p>	<p>自治会議の役割としては、諮問を受けて調査審議して意見を述べるものなどということだが、いかがでしょうか。皆さんにも、できれば大きな立場でのご意見をいただきたい。</p> <p>また、この「合併まちづくり計画」は、次回以降も毎回お持ちいただき、議論の材料としていきたいと思う。</p> <p>この会議は、歴史上初めてのものとなる。身の引き締まる思いになっている。大枠について皆さんで共通の認識を持てればよいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私が公募に応募するにあたり、合併の資料にも目を通してきた。</p> <p>先ほど市長も全国に発信していくと言っていたが、内外に発信していくということは、3千人の市職員に河内の良さを知ってもらい、我々も宇都宮市の良さを知る必要があることから、なるほどと納得した。</p> <p>住民にとっては宇都宮市全体の一部として、河内への理解を否定されてしまう不安を持っている。大きな願いをみんなで共通認識した上で進めていければよいと思う。</p> <p>特に河内の良さは豊かな自然なので、これをうまくアピールできるとよいと思う。また、私は今まで教育に携わってきたので、この面で意見を言っていきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>確かに都市部では、「水と緑」ということを地域の目標に書けない。これは大きな資源だと思う。</p>

(9) 会議開催スケジュール	
会長	次に、次第9の「会議開催スケジュール」について、事務局から説明してください。
事務局	資料3のとおり、19年度は6回の会議を予定している。ただ、これは、あくまで目安なので、回数や内容については、今後精査させていただきます。
委員	次回以降の会議の開催場所は、どこになるか。
事務局	次回からは河内地域自治センターで開催したい。
(10) その他	
会長	その他は、何かありますか。
委員	資料は、事前に配布されるのか。
事務局	次回からは事前に配布するので、それに目を通した上で参加いただきたい。
会長	資料は、1週間前には配布してほしい。 次回は平成19年度事業についてとなっているが、まずは、この「合併まちづくり計画」を熟読してくることを委員の皆さんにお願いしたい。また、委員の皆さんからも、ある程度大きな視点での河内地域の情報を遠慮なく提供してほしい。
事務局	何かありましたら、河内地域自治センター地域経営課の総務グループへご連絡いただきたい。
委員	開催日時についてだが、仕事を持っている方も多いため、時間を考慮していただけるとありがたい。曜日によっては皆さんの都合もあるだろうから、調整できればお願いしたい。土曜日などもどうだろうか。
事務局	土日のほうが良いという声が多ければ可能かと思うが、皆さんのご都合もあるので、難しいのではないかと。ただ、委員会によっては、夜に開催する場合もあるが、会長や副会長の日程の都合もある。できるだけ皆さんが集まりやすい日程としたい。
会長	夜だと委員の皆さんの都合もあるかと思う。会議の回数も限られるので、事務局と打ち合わせて、一人でも多くの委員に出席いただいて、みんなで議論を進めたいと思う。

委員	<p>まちづくり計画の説明を受けたが、あまりにも漠然としていると思う。今回河内と宇都宮が合併したが、河内地区としては、いろいろな意味で不安なことがある。当然これから宇都宮市のしくみの中でいろいろなことが行われてくるが、今までやってきたことが回らなくなるのではないかと思う。ある程度宇都宮市に慣れて浸透するまで、地区の住民の方々にどういう方向になっていくのか、早めに住民に知らせていった方が良いと思う。若い方は広報誌などを見てわかると思うが、ある程度の高齢の方は、広報誌などを見ない方もいるので、何らかの方法で知らせていかなければならないと思う。</p>
会長	<p>どう変わっていくかという情報を河内の住民の方々にいかに伝えていくかということが本当に重要だと思う。当然それが自治会議の大きなテーマのひとつとなると思う。</p> <p>本日は、みなさまの協力により滞りなく進められたと思う。それでは、以上で第1回の自治会議を終了したい。</p>